

Yamaha News

ヤマハニュース 1994 No.376
D E C

12月号



表紙写真は一般誌広告と連動しています。

特集 ■ スーパージョグZR導入直前!!

スポーツスクーターはお店のミッドZR



新規ユーザー獲得



SUPER JOG ZR

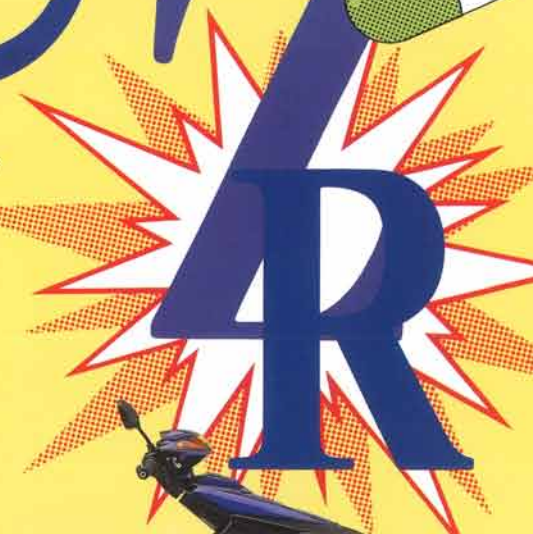
《特集》

スーパージョグZR導入直前!!

スポーツスクーターは お店のビタミン



スポーツ感覚あふれるスタイルと走り優先の装備を満載し、
12月20日に新発売となるスーパージョグZR。
ヤング男性にターゲットを絞り切ったこの商品の
位置づけは…? 売り方は…?



ステップアップ増加

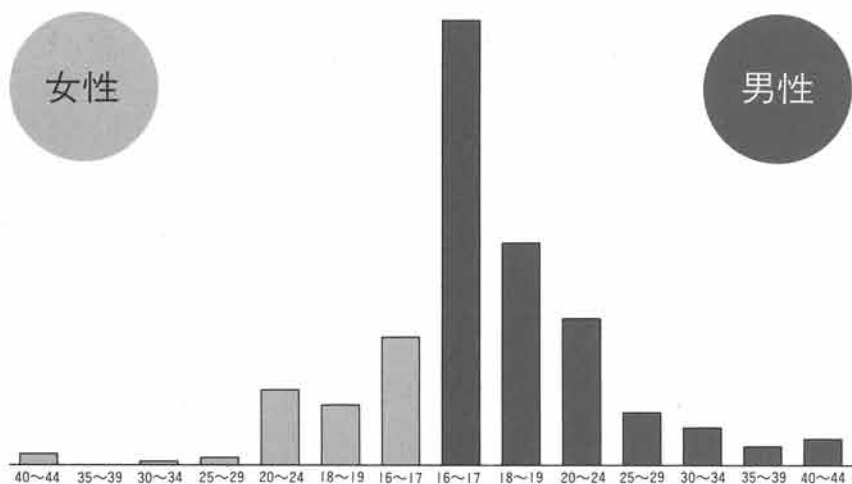


クチコ三期待



データで見る
 スポーツスクーター市場

「16~17歳・男性」がターゲット
 高校生の攻略がカギ?



スポーツスクーターのユーザーを、年齢で切るとグラフのようになる。一目でわかるとおりメインターゲットは10代の男性。「免許を手にして初めての一台がスポーツスクーター」という典型的なユーザー像が浮かび上がる。

スポーツスクーターの
 男女別年齢構成

「受験者数」「合格率」ともにアップ
 原付免許取得者は増えている!!

	受験者数		合格率		合格者数	
	93年	94年	93年	94年	93年	94年
北海道	1,284	1,355	61.1%	61.8%	785	838
東北	6,208	5,762	53.9%	57.2%	3,345	3,295
関東	32,066	34,512	57.0%	58.4%	18,271	20,154
中部	7,489	8,385	55.9%	59.7%	4,187	5,010
関西	19,780	19,304	67.9%	70.5%	13,528	14,027
中国	5,757	6,223	50.7%	56.4%	2,919	3,509
四国	1,539	4,279	58.9%	57.5%	2,243	2,462
九州	15,017	14,640	59.7%	62.4%	8,963	9,130
合計	91,406	94,460	59.3%	61.9%	54,241	58,425

免許取得年齢に達する若い世代の人口が減少する中、やはり心配されるのは免許取得者の増減。しかし「受験者数」「合格率」「合格者数」ともに94年は微増した。また月別のデータでは3月の取得が最も多く8万8732人(94年)、次いで夏休みの8月が5万8425人(同)となっている。

全国原付免許取得状況

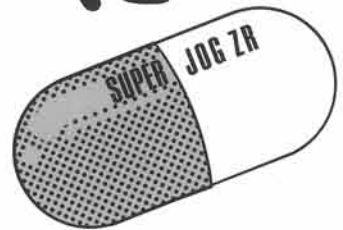
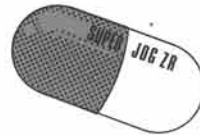
※上記データは8月単月の比較

ヤングターゲット

繁盛店に

聞く

YOU SHOPクロスさん
東京都東久留米市／野村利章社長



東京郊外にお店を構えて7年目。ヤング層をメインターゲットに置き、精力的な販売活動が続ける「YOU SHOP クロス」さん。前年比で120%の伸長と(11月現在・スクーター部門)、年毎に販売量を伸ばしている伸び盛りのショップである。

「特に今年(94年)はスポーツタイプのスクーター、スーパージョグZの販売がかなり伸びました。新商品のアプロオとの二枚岩で、あらゆるお客さまに対応できた年になりましたね」とは、38歳とまだまだ若い野村利章社長。16歳免許人口の減少など「吹く風。新規獲得が成功し、その表情には自信さえうかがえる。

さて、野村社長がスポーツスクーターに重きを置いていたご商売を展開しているのは、なぜなのだろうか? その理由をヤマハ担当セールスの森本雄太社員はこう答える。

「やはり社会環境が大きく変わっていく

中で、同じ一台でも、できることなら将来性のあるモデルを売っていききたいということでしょうね。データからもわかるとおり、スポーツスクーターの場合は多くのお客さまにファーストバイクとして選ばれています。商品を通じて新規を開拓したり、その後の(スポーツバイクへの)ステップアップにもつながる可能性があるということでしょう」

隣でうんうんとうなづきながら、野村社長もこう続ける。

「高校生に限って言うと、友達同士や先輩後輩といった、縦と横のネットワークを豊富に持っていますよね。だからひとりが来店すると友達を連れてきてくれるし、しかもそれが先輩から後輩へと受け継がれるケースもある。そういう意味でも将来性があるモデルと言えるのではないのでしょうか」

野村社長と森本セールスが挙げた「スポーツスクーター重視」の理由は、これ

だけではない。「若年層のお客さまが増えることで、お店の雰囲気明るくなる」

「スタンダードモデルと比較して、販売後の来店率が高い(点検・ブレーキパットの交換等)」といった、二次的なメリットも生まれている。

では、こうした重要な役割を担うスポーツスクーターを、同店ではどのように販売しているのだろうか?

「スポーツスクーターが売れる環境づくりには、いくつかの大切なポイントがあると思います。言ってみれば店舗演出などもそのひとつでしょうね。スーパージョグZを指名で買いに来る高校生が持っている夢……たとえば将来XJR1200に乗りたいたいが、そういったものをふくらましてあげられるような演出の差が、そのまま店選びの基準になっているような感じもします。

それと市場の性格を正しく見極めること、これも非常に大切な要素だと思えます。スーパージョグZのようなモデルの場合、道路を挟んで向こう側では、ユーザー層や使われ方がまったく違っていたりするものです。うちの商圏なんかは、Zの位置づけ自体が、10代のスタンダード。みたいなところがある。だから高校生はもちろん、大学生や若い社会人にも売れるわけです。ターゲットが違えばアプローチも違ってきますから、欠かせない要素と言えるでしょうね」

スポーツスクーターの最需期は、高校生が試験休みに入る2月に立ち上がり、新学期の始まる4月にヤマハを迎える。「YOU SHOPクロス」さんでも、DMや幹線道路への捨て看板など早目早目の対応で、実り多き春を迎える計画だ。

【特集】

スーパージョグZR導入直前!!

スポーツスクーターはお店のビタミンZR

「スポーツスクーターは、可能性のある1台
それはショップにとつても同じなんです」



【特集】
 スーパージョグZR導入直前!!
 スポーツスクーターはお店のビタミンZR



「新しく、速くて、カッコいいものが欲しい」
 メインターゲットは、いつも刺激を求めている男子高校生!!
 ターゲットの感性にフィットした販売促進ツールを用意しました。

スーパージョグZRのメインターゲットは、16~19歳のヤング男性。特にファッションや遊びの情報にとっても敏感な男子高校生が中心です。
 そこで、こうした世代にスーパージョグZRの魅力をダイレクトに伝達するため、ヤマハでは高校生に対して大き

な影響力を持つふたつの情報発進源とタイアップしました。
 ファッション誌『Boon(ブーン)』、高校生に人気のファッションショップ『ABCマート』——この強力な組み合わせによるキャンペーンで、みなさまの販売活動を力強くバックアップします。



「話題2」
 高校生の感性にフィットする『ABCマート・ストリートウェア』プレゼント
 ABCマートの選んだストリートウェアを賞品とした、スーパージョグZR販促オープン懸賞を実施します。賞品は人気の『GT HAWKINS』のフービーを主役、『Cosby』のジャケット、『VANS』のスニーカーなど、おしゃれな高校生の感性に



「話題1」
 街のナンバー1 スクーター乗りを探せ!!
 『スクーターファッションコンテスト』を実施
 いまどきの高校生はコンテストが大好き。特にもっとも興味のあるファッションコンテストは、テレビ番組の中でも高い人気を集めています。12月から全国のABCマートで始まる『スクーターファッション・コンテスト』(Boon主催)は、スクーターファッションのセンスを競うコンテスト。優勝者にはスーパージョグZRがプレゼントされるとあって、話題沸騰間違いなしのイベントです。

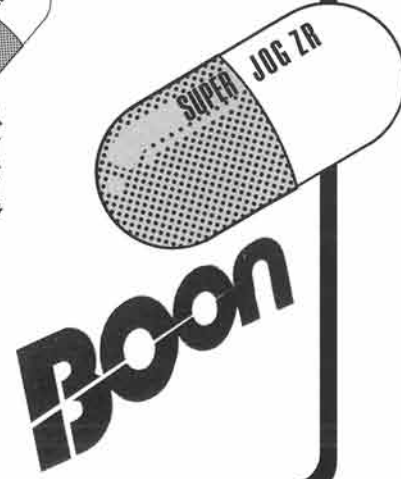


「話題3」
 新規ユーザーの来店促進には、街で話題の『ZRオリジナルピンズ』が大活躍!!
 いま若者の間で大流行のピンズ(ピンバッジ)。ジャケットや帽子のアクセントとして楽しむおしゃれなアイテムです。スーパージョグZRのフィーチャーを型どった『ZRオリジナルピンズ』を、新規層の来店促進にお役立てください。



フィットするモノばかり。「欲しくないものがない」オープン懸賞です。

「話題4」
 「つい開けたくなってしまっ」
 Boon誌風のダイレクトメール。開封率は100%!?
 お店のメッセージをお客さまへと確実に伝達するダイレクトメールは、何よりも効果的な広告手段。しかしお客さまの手元まで確実に届いたとしても、開封していただかなくてはなにも意味を持ちません。そこで、Boon誌の影響力を活用した特製DMを用意しました。ファッション誌の表紙をイメージさせるおしゃれなDMが、開封率を格段に高めます。



新機構トリプルYPVS採用 TZR250SPR新登場

NEW Model

メーカー希望小売価格

780,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラー：ブルーイッシュホワイトカクテル

'94シーズン、鈴鹿4耐優勝や筑波500km優勝など、各地のサーキットで走りっぷりの良さを実証したTZR。Vツイン搭載から5年目となる'95モデルは、新機構トリプルYPVSを装着して'95年1月10日生まれ変わります。

「TZR250SPR」は、現行の「SP」を母体に①優れた市街地走行性能②充実のコストパフォーマンス③レース参加時のポテンシャルアップという3要素を開発ポイントとして最新技術を投入しました。しかも、現行「TZR250RS」の特色を一層高めて引き継ぎ、この一台に合わせて具現化させたのです。



【TZR250SPR】

●全長1960mm ●全幅680mm ●全高1075mm ●シート高780mm ●軸間距離1340mm ●乾燥重量132kg ●舗装平坦路燃費35.0km/ℓ(50km/h) ●エンジン水冷2サイクルクランク室リードバルブV型2気筒249cc ●内径×行程56.0mm×50.7mm ●圧縮比7.5:1 ●最高出力40PS/9,000rpm ●最大トルク3.6kgf-m/7,000rpm ●始動方式キック式 ●燃料タンク容量15ℓ ●変速機形式常時噛合式前進6段 ●タイヤサイズ110/70R17 54H(前)150/60R17 66H(後) ●ブレーキ形式油圧式ダブルディスク(前)油圧式シングルディスク(後) ●懸架方式テレスコピック(前)シングアーム(後)

新採用のフィーチャー&セールスポイント

■低中速域の性能アップ、 運行燃費の10%向上(当社比)を実現した 「トリプルYPVS」

回転域に応じた効率のよい排気タイミングを実現するYPVSに、新機構「トリプルYPVS」を採用しました。

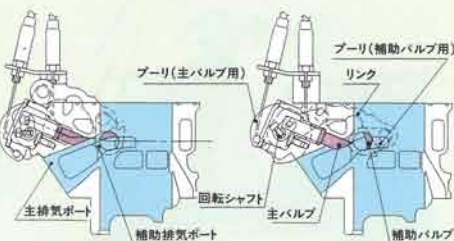
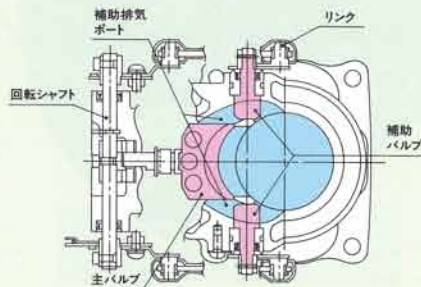
従来のメインバルブに加え、その左右の補助排気ポートに補助バルブを新設。よりキメ細かな排気コントロールを行なうことで、低中速域での吹き抜けを減少させ、低中速時の出力とトルクの増大を達成。'94「SP」比較で低中速域で15%性能向上、運行燃費の10%向上(当社比)を達成しています。

■新型・逆三角形ポアのキャブレター

ストロークに対する出力特性がリニアな新型・逆三角形の異形(φ32相当)ポア採用のキャブレターを採用しました。これに合わせて吸気通路形状も変更して、真円キャブと同等以上の吸入空気量を確保。扱い易さを一層向上させました。

また、ピストンバルブ形状は半円型に変更してайдリングの安定性を促進。さらにトリプルYPVSとの相乗効果で、市街地走行での優れた発進性と扱い易さの向上を実現させています。

TZR250SPR トリプルYPVS基本構造



全開時

全閉時

■ワイドレシオミッション

市街地走行での発進性向上を図るため、ワイドレシオミッションを採用しました。(現行TZR250RSと同レシオ)「SP」比較で1〜3速の駆動力が向上し、市街地走行でのスムーズさを高めました。

■ピボットセンターまわりを新設計した アルミ製デルタボックスフレーム

アルミ製デルタボックスフレームは、新たにピボットセンターまわりの形状変更と、クロスチューブ鋳造の一体化を行ない、ピボットセンターまわりの剛性を約5%向上。

■フロントサスペンションのセッティング変更

φ41mm倒立式フロントフォークは、SPレースでの十分な性能を確保しながらも、市街地での走行性能を優先したセッティングを行ないました。

■伸側減衰調整機構の見直し

リアサスペンションについても標準セッティングの見直しを図るとともに、伸側減衰についてはセッティング許容範囲内の1クリックあたりの感度を小さく設定。「SP」の20段階から25段階調整に変更し、よりキメ細かなダンピング調整を可能としました。

■ニューパターンタイヤの採用

SPレースで評判の高いハイグリップタイヤをベースに、専用開発したニューパターンを採用しました。

軽快な走り、個性的デザインなどがヤングユーザーから人気を集め、スクーター市場の索引役として健闘してきた「スーパージョグZ」が、走行機能、利便性など総合性能を一段とレベルアップ。
'95モデル「スーパージョグZR」として12月20日新登場します。



ホップアップオープンのヘルメットトランク

シャープな直線基調のボディライン&クロム用ニューグラフィック

スタンディングハンドル兼用のハイマウントストップランプを一新。直線基調の外観を強調しました。

新型ハイマウントストップランプ

スモークレンズウインカー

リザーブタンク付きリアサスペンション

リザーブタンク付きの新型リアサスペンションを採用しました。伸び側減衰性能を20%向上させるとともに、圧側減衰発生専用バルブを採用。クッションストロークも10mmアップの55mmとし、優れた乗り心地を実現。外観商品性も一段と向上しています。

7.2psのハイパワーエンジン

最高出力は「スーパージョグZ」より0.2馬力大きい7.2ps/7,000rpmにパワーアップ。人気の力強い走りと、伸びの良いエンジン特性に一層磨きをかけました。冷却用ファンには赤い「カラードファン」を採用。スポーツ感覚を強調した迫力ある新型マフラーと合わせて、右側リアビューの精やかなイメージを打ち出しています。



90/90-10のワイドタイヤ

ディーパバイオレットメタリック6

ヤマハスクーター「スーパージョグZR」

●全高1020mm ●全長1625mm ●全幅660mm ●シート高750mm ●軸間距離1130mm ●乾燥重量66kg ●舗装平坦路燃費55.0km/ℓ (30km/h) ●エンジン空冷・2サイクル・クランク室リードバルブ単気筒49cc ●内径×行程40.0mm×39.2mm ●圧縮比7.2:1 ●最高出力7.2PS/7,000rpm ●最大トルク0.74kgf・m/6,500rpm ●始動方式セル・キック併用式 ●燃料タンク容量4ℓ ●変速機形式Vベルト自動無段変速 ●タイヤサイズ90/90-10 40J(前) 90/90-10 40J(後) ●ブレーキ形式 油圧式ディスク(前) ドラム(リーディングトレーリング) (後) ●懸架方式 テレスコピック(前) ユニットスイング(後)



ディーパーブリッシュレッドメタリック5



ダークブルーカクテル2

PARTS & ACCESSARY

ベストセラーモデルTT-Rシリーズをよりファッションブルに演出する「ボルトオンパーツ」が新登場!!

TT250Rレイドの追加発売により、激戦の4サイクルオンオフモデル市場において、確固たるベストセラーモデルのポジションを築いたTT250Rシリーズ。そのスタイリッシュなデザインをよりファッションブルに演出する「ボルトオンパーツ」に、新たなバリエーションが加わりました。本体販売時に、また点検・修理の来店時に、TT-Rオーナーのお客さまへおすすめください。

TT250R専用 スタックハンドル

¥2,800 No.90793-65025

フロントフォークのアンダーブラケットに装着するスタックハンドル。スタックからの脱出はもちろん、トランスポーターへの積載時にもフックとして利用できます。

カラー：シルバー
パイプ外径：17mm



TT250Rレイド専用 ハンドルレバーパット・ロング

¥1,900 No.90793-65024

レイドのハンドルブリッジにジャストフィットする全長300mmのロングタイプ。表皮にはネオプレーン風の素材を採用し、新感覚のフィーリングを持たせています。

カラー：バイオレット
外径：52mm



オフロード汎用 タンクポーチ

¥3,900 No.90793-61051

燃料タンクに装着するマグネットタイプの小物入れです。マグネットで固定するベース部と小物入れのポーチ部が、ファスナーにより脱着できます。

カラー：バイオレット
サイズ：180×120×40mm



店頭に若いエネルギーを演出する'95新商品

スーパージョグZR

メーカー希望小売価格 168,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラー：ブラック2
ディーバイオレットメタリック6
ディーパーブリッシュレッドメタリック5
ダークブルーカクテル2

黒クロム仕上げの グリップエンドプラグ

NEW

スモークレンズウインカー& イエローヘッドライト

盗難対策を強化した メインキー

NEW

メインスイッチ内部のタンブラーの強度を向上。あわせてハンドルロック時にはロックプレートが働いて、ハサミ等によるメインスイッチ破壊に対する抵抗力を大幅に向上させました。

外観をひきしめる フェイスランプ

NEW

フロントパネル上部にフェイスランプを新設。スタイルにアクセントをつけました。

セリアーニ フロントフォーク

ホイールトラベル51mmを確保。快適な乗り心地と軽快なハンドリングの調和を図りました。

ブレンボ製フロント ブレーキキャリパー

フロントブレーキには、ブレンボ製対向ピストンキャリパー装備のディスクブレーキ。すぐれた動力性能に見合ったストッピングパワーを発揮します。

90/90-10 ワイドタイヤ



ブラック2



ディーバイオレットメタリック6

ing Highlight



ポルドール24H

出発の前に永井康友は「勝負のポイントは3人のタイムにバラツキがないこと」を挙げた。フランス伝統の第58回ポルドール24時間耐久レースで「ヤマハモーターフランス」から参加のサロン兄弟&永井のトリオは、タイム差を1~2秒に押え、24時間3869kmをノンストップで熟走。667ラップの新記録でYZF750に世界耐久選手権4度目の優勝をプレゼント。



WGP-MX

「チェスターフィールド チームヤマハ リナルディ」から125cc世界選手権シリーズに出場したボブ・ムーア。全22ヒート中優勝11回、2位5回、3位2回を含め21ヒートでポイントを得た。最終戦ベルギーGPでの第1ヒート、ホールショットから独走の優勝で世界タイトルに輝いた。ムーア自身にとってGP参戦9年目の栄冠。



全日本SB

国内最高峰、全日本スーパーバイクに「チームヤマハZau's」から参戦した吉川和多留。ランキング2位の青木拓磨(ホンダ)に3ポイントリードで迎えた最終戦MFJグランプリ。吉川はスタートに遅れるが、7~8番手からファステストラップを記録しながら追撃。先行する青木選手をパスして3位のチェッカー。全日本スーパーバイクの初代チャンピオンの栄光を手にした。



WGP-RR

GPI(500cc)クラスで「マールボロチーム ロバーツ ヤマハ」からYZR 500で出場のL・カダローラ。カジバのコシンスキーに7ポイント差をつけられ迎えた最終戦。カダローラはポールスタートで小雨の中健闘して今季2勝目をゲット。一方のコシンスキーは3位に留り、終盤の逆転劇でランキング2位を獲得。



ご声援ありがとうございました



AMA-MX

全米を転戦する250cc AMA ナショナルモトクロスで、市販YZを駆るジョン・ダウトが激戦の中、堂々ランキング2位を獲得した。全12レース24ヒート中、全ヒートでポイントを得るといふ安定した走りの中にも、優勝3回とここ一番の速さを披露。来季もYZで全米MXシーンをリードしてくれそうだ。



WGP-RR

開幕戦の3戦で転倒。右手甲を骨折する不運なオープニングとなった「ヤマハ モーターフランス」の原田哲也。シリーズ中盤は、2位走行中追突される等のアンラッキーが続くが、第8戦イタリアGPでの2位表彰台以降、笑顔が帰ってきた。今季獲得119ポイント中84ポイントを第8戦以降の6レースで獲得する終盤の追い上げてランキング7位でシリーズを終えた。



WGP-RR

第13戦はアルゼンチンGP。予選2番手スタートのマルティネスは2周目からトップに立つと終盤までポジションをキープ。追い上げてきたホンダの上田昇との一騎討ちとなり、最終周には3度も順位を奪い合う大接戦。0.03秒の僅差でうっちゃりGP3クラスでのT.Z初優勝を果たした。ヤマハにとって、グランプリ125ccで20年ぶりの勝利。



'94 Race
'94レーシングハイライト

TY250Z SCOTTISH SSDTにデビュー! 専門誌向け試乗会盛況

'95 スポーツ商品の第一弾として「TY250Z SCOTTISH」が12月1日より市場導入されますが、ヤマハでは二輪専門誌を対象とした試乗会を11月11〜12日、静岡県浜北市のトレールランドを拠点に開催。約50kmのツーリングコースの中に10のセクションを設け、3名1組のパーティで1日を楽しむ「ミニ・ツートラ」方式で実施した今回の催しは、その名も「スコティッシュ・すつたもんだ・ドタバタ・ツートラ」、略してSSDT in 天竜。参加した全16誌40名の報道関係者は、トライアル初体験の方からベテランまで様々な顔ぶれで、思い思いにツートラを満喫していました。「これは新しいスーパーバイクマシンだ」「いやスーパーセローだ」といったユニークな評価も飛び出しましたが、参加者が口を揃えて絶賛したのは「始動性がよく扱いやすいエンジン特性」「舗装路での快適な走行性能」「セクション走破性と公道走行での性能を合わせつつ新しいタイヤ」の3つのポイント。詳しい紹介は12月発売の各誌で掲載されます。



SSDT in 天竜スタート台に立つ専門誌の参加者。写真は「トライアルジャーナル」さん。クトゥリエ選手も先導役に参加



河原のセクションもスイスイとクリーン

10クラブ、140名が参加、大盛況の『第1回ヤマハクラブミーティング』



参加者の中には南は岡山、北は仙台から7〜8時間かけてFJで駆けつけた人も……

会場に訪れたヤマハの長谷川社長や平忠彦さんなど、なつかしい名車の数々を観賞

小 春日和に恵まれた11月13日、静岡県袋井市のヤマハコースでYDSクラブ主催の『第1回ヤマハクラブミーティング』が開催されました。世代と機種の違いを超えてヤマハのモーターサイクルを愛用するユーザークラブが一堂に会するこのイベントには、YDSクラブを始め今年4月に発足したばかりのDT1クラブなど全国から10クラブ、約140名が参加。愛車の生まれ故郷であるコースの走行を楽しみました。「ふだんめったに顔を合わせることはない他クラブと親睦を深め、ヤマハファンのつながりを広げる良い機会になれば」とクラブミーティング事務局の佐々木さん。YDS系やDT系の旧車からFJ、XJRなどがバドック内に勢ぞろいした様子は圧巻で、参加者たちはその個性あふれる一台一台に飽きることなく見入っていました。

INFORMATION SERVICE

スリースター・ダブルスターに 新規認定69店が仲間入り



ヤマハモーターサイクルを扱うプロショップの証しとして、すっかりおなじみとなったYTS。シングルスターからダブルスター、スリースターまで3ランクに分かれ、それぞれ厳正な資格審査にパスしたお店だけが認定されています。

そのなかで、このたび新たにダブルスター64店、スリースター5店が仲間入りとなりましたのでご紹介いたします。

ヤマハ・テクニカルサービス・スター店制度新規認定店のみなさん

★★★スリースター

- 東京 YSP高井戸
YSP志村
YSP多摩
- 鳥取 YOU SHOP沢田
- 広島 YOU SHOP岡本

★★ダブルスター

- 青森県
ホンダオートセンター青森
- 宮城県
YSP仙台西
YOU SHOPハサマ
モト セクション
朝早坂サイクル商会 上杉店
- 埼玉県
YSP坂戸
- 千葉県
YSP銚子
YOU SHOP Alice
(合)大網サイクル商会
街高橋オート販売
南袖ヶ浦ホンダ 長浦店
南オートショップミサワ おゆみ野店
野田ヤマハ
- 東京都
朝佐藤クレジットサービス文京本社
南サカエ輪業商会
山崎輪業
YSP駒沢

- YOU SHOP CROSS
YOU SHOP あいはら
朝バイクビレッジ
南オートサイクルシマダ 瑞穂店
伊能スズキ販売
朝モーターサイクルドクター須田

●神奈川県

- モトハウス リバティ
朝ミズモト本店
朝モトラッド
南栄モーター商会
丸富オート販売朝塚店
丸富オート販売朝藤店

●山梨県

- YOU SHOP KIUCHI
井上モーターズ 相生店

●長野県

- テクニカル・ショップQ
北澤モーターズ

●岐阜県

- YSP北方

●静岡県

- 南モトラッド三澤

●愛知県

- 朝柴田モーターズ 春日井店
朝柴田モーターズ 瑞穂店
南バイクアンドバイク
BIKE・KOZO
南セフティモーター大連

●京都府

■ヤマハ二輪車整備士講習会

	12月	95年1月
北海道	B	2M 26-28 4M 30-2/1
東北		B 2M 24-26
東京	B 4M 6-8	B 2M 24-26
中部	B	B 2M 24-26
関西		
中国		2M 瓜 11-13 2M 岡山 18-20
四国	B	
九州	2M 7-9 4M 14-16	

B/ベイスック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、日程のないものは各営業所へお問合せください。

A D 12月のヤマハ提供番組

■ヤマハONアンドOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数々をご紹介します。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ和歌山、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日24時40分から24時55分。東北放送/毎週木曜日24時45分から25時00分。テレビ新広島/毎週木曜日24時45分から25時00分。なお、次の放送局でも観られます。山形放送、テレビ信州/毎週金曜日25時10分から25時25分。伊予テレビ/毎週土曜日11時30分から11時45分。三重テレビ/毎週金曜日18時15分から18時30分。びわ湖放送/毎週金曜日22時30分から22時45分。奈良テレビ/毎週土曜日22時15分から22時30分。テレビ和歌山/毎週土曜日18時30分から18時45分。

▶12月3日<MC編>

『バイク温泉トライアル・ペンションオーナ

ーと仲間たち』

▶12月10日<マリン編>

『伝説のフィッシングクラブが漁師に挑戦』

▶12月17日<MC編>

『石山和男の小さな冒険旅行』

▶12月24日<マリン編>

『宴会好きヨット集団「海燕」』

■オリジナルコンサート 私たちの創った世界
世界各国で精力的に活動している財ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子もたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。

テレビ朝日系列全国ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

■ぼっぶん王国 <ラジオ>

ミュージックスタジオ

10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぷりのラジオ番組です。毎週月曜と火曜、それぞれ切口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。ニッポン放送他16局ネット。

技術向上で築こう! 大きな信頼 '94スタートーナメント全国大会開催

お客さまに、より高い満足を提供できるよう、整備技術や接客技術といったサービスマンとしての総合力アップをめざす『94ヤマハスタートーナメント全国大会』が、11月9・10日の2日間にわたり、ヤマハリゾート・つま恋(静岡県)で開催されました。「技術で築こう より大きなお客さまの満足を」というスローガンのもと、1800店を超えるスター店、5700人以上のヤマハ二輪車整備士のなかから、今

回は、その代表30名(ベーシッククラス10名、マスタークラス20名)が参加。学科や実技、接客、座学実技の4種目に挑みました。

傾向として、今回は全体的に設問のレベルが高めで、特に車両を使った実技では時間に追われる選手がチラホラ。それでも、満点近い成績を取めた選手もいて、さすがに全国大会らしくハイレベルな内容でした。



左: マスタークラス優勝
永井聖司さん(YSP藤井寺)
「3年前(前大会)では準優勝しているのですが、今回は3位以内には入りたかった。実技では時間に追われ、完全に終了できなかったが、接客が一番むずかしかった」
右: ベーシッククラス優勝
村上弘芳さん(YSP広島南)
「普段のままで競技し、平均的にできたと思う。だけど、どちらかといえば普段店でやる作業の方がむずかしいかな」

自分の店で車検が取れる! 神奈川県初の指定整備工場

サービス体制の充実化と、さらに道路運送車両法改正を先取りする意味から、陸運局の認証工場資格を取得するお店が増えています。

ところが、それならいっそ車検業務一切を自社でやってしまうと、ついに“指定自動車整備事業所”資格を取得したお店も登場しました。

横浜市を中心に13拠点を展開する丸富オート販売㈱(神奈川県/長田憲治社長)がそれで、二輪車を対象とした指定工場は神奈川県下初。全国でも5番目の快挙です。

9月1日、横浜市神奈川区にオープンしたこの工場は、約193㎡の敷地に2階建て各92㎡の広さを持ち、整備士として10年以上のキャリアを

持つ検査員2名、2級整備士2名ほか7名のスタッフが業務にあたります。今後は、民間車検場としてユーザーメリットのある充実したサービスを行っていききたい、ということです。



10月7日には、業界関係者を多数招いて披露パーティを行なった

XJR1200拡販にも効果アリ 関西で出張YBSが大人気!



FZ X750がひとり1台ずつ貸与され、1日4~5時間の実技指導を受ければほとんどの参加者はクタクタ

— 輪車専門の教習所として知られる
— ヤマハ・テクニカルセンター(静岡県掛川市)では、大型二輪免許取得に高い実績を持つ『YBS(ヤマハビッグバイクスクール)』を開催しており、さらにその活動を全国に広げようと、要請に応じて“出張YBS”も展開し

ています。それを、お客さまの活性化につなげたいと考えたのがYSPメンバーズクラブ関西ブロックのみなさん。昨年春、春と秋に大阪、神戸、京都で計4会場を設け、お客さまにビッグバイクへのチャレンジをアピールしてきました。定員は1会場20名。今年秋までにのべ12回開催しましたが、いつも定員いっぱい。実際に大型免許取得に成功したお客さまも数多いことから、今では相当数の希望者があり、うれしい非鳴をあげているとか。

そうしたなかで、YSP大阪東さんのように、今年春の時点で受講者の半数がXJR1200購入に結びついたというお店もあり、このYBSを利用したユーザー活性化策、成果は上々といったところで。

TOPICS



マスタークラスはTZR250R、ベーシッククラスはJOG-Zを使用。点検、整備を限られた時間内でこなしていく

ヤングパワーよ! F1をめざせ!! 『第18回ジャパンカートGP』開催

日本カートレース界で最も大きな大会のひとつ『ジャパンカートグランプリ』が、今年も10月14日~16日、宮城県・スポーランドSUGOの国際カートコースで開催されました。

この大会は、1976年以来18年の歴史を持ち、国際格式の『日本グランプリ』クラスをはじめ、全国展開している一般向けシリーズ『SLカートレース』の全国大会も併催。合計240台が参加して、大きな盛り上がりを見せました。

なかでも、イタリアやスウェーデン、オーストラリアなど20名を超える海外有力選手と、国内トップクラスのドライバーが日本グランプリの覇権を争ったFSAクラスは大接戦。

ポールポジションの女性ドライバー、シャーロット・ヘルベルグを、ディフェンディングチャンピオンであり今年の鈴鹿ワールドカップとヨーロッパ選手権を制したヤノ・トゥルーリ(伊)や昨年の世界タイトルを総なめした18歳ニコラ・ジャンニベルティ(伊)、実力派女性ドライ

バーのソフィー・マリー・コーベン(ベルギー)、そして日本のFSAチャンピオン松谷隆郎、大竹時幸、17歳の松浦佑亮らが追う展開となります。

しかしヘルベルグ、トゥルーリ、大竹がはやばやと脱落すると、中盤はコーベンのペース。そこへ終盤、松谷と松浦が差を詰め、ついに松谷がトップに浮上。そのまま逃げきって、歓喜の初優勝を遂げました。



故・セナ、鈴木亜久里、バースタッペンなど、この大会を経てF1へ上りつめたドライバーも多い

至高の銀杯をめざし挑戦再び! 『アメリカズ・カップ1995』

140年の歴史を持つ世界最高峰のヨットレース『アメリカズカップ』第29回大会が、来年1月のディフェンダー決定戦『シチズンカップ』と挑戦者決定戦『ルイ・ヴィトンカップ』を皮切りに幕を開けようとしています。

これには、日本からも再び『ニッポンチャレンジ・アメリカ杯1995』が挑戦者の名乗りを上げ、まずオーストラリアやニュージーランド、フランス、スペインの7チームとともに、1月14日から始まるルイ・ヴィトンカップに参加することになっています。

ヤマハは、前大会のルイ・ヴィトンカップでベスト4まで残った実績を生かし、今回も挑戦艇<ニッポン>の建造を担当。すでに、JPN-30と呼ばれる今大会用1号艇を今年3月に進水させ、この艇は10月28日から11月5日まで行

なわれた世界選手権で、マストのトラブルを克服して3位を獲得しました。

その後、11月末までには2号艇JPN-41も完成。あとはテストとトレーニングを重ねながらレースの開始を待つばかり。ニッポンチャレンジチームと<ニッポン>の健闘に期待したいものです。

<ニッポン> JPN-30(手前)はJPN-26を相手にトレーニング、テストを重ね、そのデータがJPN-41設計、建造に役立てられた





レースと商売の

名門レースチームを抱えながら、
“ふつうの商売”をめざすYOU SHOPの素顔。

“距離”



市場環境の変化がもたらした レーシングショップからの転針

石崎博文社長がモトスポーツ福島という店を引き継いだのは、9年前。それまでは、この店を拠点とする名門・武蔵野レーシングのメンバーで、ヤマハのサポートを受けたこともあるモトクロス国際B級ライダーだった。

「急な話だったし、店のスタッフとしての経験さえなかったから、不安は大きかったですよ。でも、いずれは自分の店を持ちたいと考えてたところだったので、いいチャンスかなって思いました」

ところが、その頃に境に隆盛を誇った「バイクブーム」は去り、業界全体が下降線をたどり始める。

「モトクロスがブームのころなんて、YZが年間30台も40台も売れたこともあったんですけど、バイクそのものの人気低迷してい



認証工場を取得するのに必要な機器類はほとんどそろっている。スペースの不足も改装で補えるが、ネックはヒト。一番頭の痛い問題だという



くなかでそんな話はもう物語語になってしまっていた。レース活動を続けたい気持ちはやまやまですが、まず足許を固めることが先決。それで、スクーターを中心に地元需要を幅広く確保しようとしたワケです

それにつれて、武蔵野ライダーズを看板にしたレース、モトクロス色の強いショップカラーもしい変化していった。もともと、レースをやるうというのバイク好きのなかでもかなり特化した人たち。ふつうのライダー、特にスクーターのお客さまにとってはレースというハードイメージが来店の妨げになりかねないからだ。

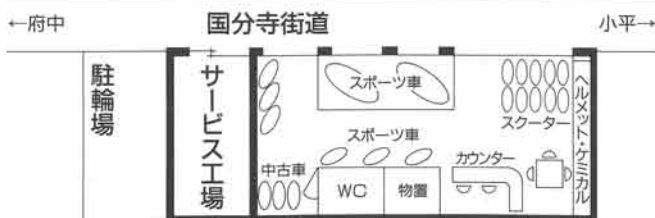
こうして、今ではYZ80の1台さえも店頭から姿を消してしまった。

YOU SHOP国分寺

石崎博文社長・東京都小金井市

モトスポーツ福島を'85年に石崎社長が引き継ぎ、モトスポーツ国分寺として再スタート。のちに YOU SHOP となる。現在の店舗は、6年前に移転、新装したもの。JF中央線・国分寺駅から徒歩10分、国分寺街道沿いにあり、住宅地と商業地にはさまれた好立地といえる。

●販売構成：スクーター3・スポーツ1 ●客層：付近に学芸大、東経大、一橋大があり、客層の6割が学生。残る4割は、社会人と主婦が半々。 ●商圏：中央線の北側、国分寺市、小金井市、小平市に渡りスクーターで3~4km、スポーツが5~6km。 ●クラブ：浅見貞典、川崎智之などのライダーを輩出した、名門・武蔵野ライダーズを引き継ぐ。 ●店舗面積：20坪（ショールーム16坪、サービス工場4坪）、駐輪場4坪 ●サービス：YTSシングルスター、認証資格は取得検討中



手描きPOPは古いツールの裏を廃品利用したもの。担当セールスの力作だ



武蔵野ライダーズの仲間、店舗デザイナーや大工さん、タイル屋さんなどがそろってのため、改装はほとんど彼らが担当。メインステージは、壁だったところをぶち抜いて作った。視界を邪魔しがちな窓枠も、木製で品よく仕上げられているため、違和感を感じさせない

いずれはMXもやりたい 夢は総合スポーツショップ

しかし、石崎社長はレースとのかかわりをすべてなくしたわけではない。武蔵野ライダーズは依然としてYOU SHOP 国分寺を拠点として活動しているし、6年前に店を移転（すぐ近くだが）した時は、今の店の改装をチーム員がほとんどやってしまったというほど、その結びつきは強い。

「商売の邪魔にならないよう、いろいろ気を遣ってくれてるんですよ。そのくらいみんなオトナになったってことだろうけど（笑）、メンバーの入れ替わりもないから寂しいね。若い子たちがいれば、少しは邪魔かもしれないけど、活気が出るもね」

だから今、スポーツ車ユーザーを増やしなから、エンデューロなどをきっかけにレースに目覚めるライダーが出てくるのを、ひそかに心待ちしているのだ。



店内にも木材を多用。接客テーブルやカウンターの天板など、廃材を利用したものも多く、シックで暖かな味が魅力



道沿いに細長い店舗は通行者の注意を引きやすいため、展示車の配置が大切。2ヵ月に1度は全体を入れ替えるほか、毎日の変化にも気を使う

「でも、まだまだだよ。武蔵野ライダーズの名前を出すと、あそこはモトクロスやってるから厳しいぜって敬遠されちゃう。それに、今はスタッフが自分ひとりだし、エンデューロなんかにもついてってあげられない。そういうところで、クリアしなきゃならない問題も多いけど、夢はあくまでレースもツーリングもやる総合スポーツショップ。がんばって売り上げを伸ばして、ひとつずつ前進していきたいね」

その意味で、10代のフレッシュなライダーを狙えるJOG-RRは、石崎社長が一番力を入れたモデルだという。夢に近づいたための大きなワンステップ。これから始まる新しい展開に期待したい。

シリーズを熱くさせた『ティレル-ヤマハ』 '95年の片山右京選手に期待!



母国・日本GP、そして翌週の最終戦・オーストラリアGPと、結果を残そうと奮闘した右京だが、トコトン雨にたたられた。それでも、終わってみれば合計5ポイント、ランキング17位をゲット



雨中の戦い。名勝負を残した日本GP

11

月6日、三重県・鈴鹿サーキットで、'94 F1グランプリ第15戦・日本GP決勝が降りしきる雨のなか、15万5000人の観客を集めて行なわれました。

ヤマハと片山右京選手にとっては母国グランプリ。『ティレル-ヤマハチーム』に対する周囲の期待も大きく、チーム全体が万全の態勢で臨みましたが、まずそのマシンにトラブルが出ます。

1日目、フリー走行で右京選手のスペックUエンジンがブロー。予選が始まって、好天に恵まれて他車がぐんぐんタイムを伸ばす間、『ティレル-ヤマハ022』は車体のバランスを詰め切れず、右京選手は14位、M・ブランデル選手も13位と出遅れてしまいました。

レース前「ボールポジションを狙う!」と語っ

鈴鹿、オーストラリアと入賞目まで行きながらリタイア。しかし、ブランデルは Constants な速さでランキング12位につけた



ていた右京選手は2日目のアタックに望みをかけますが、今度は雨にチャンスを奪われて、結局、決勝グリッドは1日目の順位のまま。それでも、ヨーロッパでは最後尾から驚異的な追い上げをみせているだけに、「ドライならいいね。悔いのないレースをやります」と闘志をのぞかせます。

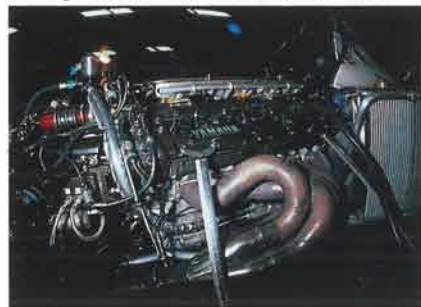
ところが、迎えた決勝当日も雨。しかも、スタートして直後に豪雨となり、右京選手は3周目のホームストレート上でハイドロプレーンを起こしてピットウォールに激突。大きなケガは免れたものの、無念のリタイアとなってしまいました。

一方、ブランデル選手は13位から着実にポジションを上げ、6位に進出。最初のピットインをすませ、さらに上位を狙おうとしていたところ、27周目にエンジントラブルでマシンを降りました。

WPGMX125チャンプのB・ムーア(左)も『ティレル-ヤマハ』の応援に駆けつけた



今シーズン、大躍進を遂げたヤマハOX108エンジン、『ティレル-ヤマハ』のコンストラクターズランキング7位獲得を支えた



レース後、木村隆昭ヤマハ・プロジェクトリーダーは次のように語っています。

「みなさんの期待を裏切ってしまう、本当に申し訳なく思っています。しかし、この大きな試練が我々をさらに成長させてくれるはず。残るオーストラリアGP、そして来年に向けて全力を尽くすつもりですので、応援をよろしくお願いいたします」

大事なレースを落としたとはいえ、『ティレル-ヤマハ』そして右京選手がこの1年で大きく進歩したのは事実。来年はひとまわり強くなって、きっと優勝の笑顔を見せてくれるでしょう。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社